

## 1 4 交通・情報

関連予算の執行額

(単位：千円)

会計 区分	予算科目			予算執行額
	款	項	目	
一般	02総務費	01総務管理費	01一般管理費	※ 717,878
一般	02総務費	02企画費	02計画調査費	528,690
一般	02総務費	02企画費	03運輸交通対策費	347,367
一般	08土木費	01土木管理費	01土木総務費	※ 341,847
一般	08土木費	02道路橋りょう費	01道路橋りょう総務費	※ 2,201,814
一般	08土木費	02道路橋りょう費	02道路維持費	※ 2,535,831
一般	08土木費	02道路橋りょう費	03道路新設改良費	※ 18,825,514
一般	08土木費	02道路橋りょう費	04交通安全対策費	※ 916,623
一般	08土木費	02道路橋りょう費	05橋りょう維持費	※ 248,166
一般	08土木費	04港湾費	01港湾管理費	※ 1,276,727
一般	08土木費	04港湾費	02港湾建設費	※ 2,515,323
一般	08土木費	05都市計画費	02街路事業費	※ 1,525,179
特別	01港湾等整備事業費	02徳島小松島港沖洲(外)地区整備事業費	01臨海土地造成事業費	331,000

### 1 陸上交通網の拡充

#### 1 道路網の整備（道路整備課，都市計画課，高規格道路課）

##### 1(1) 交流圏拡大のための幹線道路の整備

###### ア 高速道路等の整備

###### (7) 四国縦貫自動車道の整備促進

本県関係の四国縦貫自動車道については、昭和56年1月に徳島－脇町間41.2km，昭和63年6月に脇町－美馬間11.5km，さらに、平成3年1月に美馬－川之江間42.6km（うち本県分36.1km）の路線発表がなされた。県では、昭和57年度から日本道路公団（平成17年10月1日から西日本高速道路株式会社）より用地取得事務委託を受けるとともに、昭和61年度から県事業として、高速道路周辺特別対策事業費補助金，代替地先行取得資金利子補給補助金，関連営農施設等整備事業費補助金の交付制度を設け、事業促進を図った。そして、平成6年3月に藍住－脇町間，平成7年8月に徳島－藍住間，平成9年12月に脇町－美馬間，平成11年3月に美馬－井川池田間，平成12年3月に井川池田－川之江東間がそれぞれ供用された。また、平成19年3月には、脇町－美馬間の下り車線に延長約1km，平成

21年12月には阿波PA東側の上り車線に約1kmの「ゆずり車線」が供用された。

#### (イ) 四国横断自動車道の整備促進

本県関係の四国横断自動車道については、平成元年2月に徳島―津田間47kmが基本計画区間に、また平成3年12月には、鳴門―津田間36kmが整備計画区間に、阿南―徳島間22kmが基本計画区間に、それぞれ格上げされた。そして、平成8年12月には、小松島―鳴門間23kmが整備計画区間に、平成10年12月には阿南―小松島間10kmが整備計画区間にそれぞれ格上げされた。鳴門―津田間については、平成5年11月に施行命令が出され、板野―津田間25.7km（うち本県分5.8km）が平成13年3月に、鳴門―板野間10.5kmが平成14年7月に暫定2車線で供用された。さらに、平成24年4月に鳴門―高松市境52km（うち本県分16km）の整備計画が変更され、平成30年度までに4車線化が図られることとなった。

小松島―鳴門間については、平成10年12月に施行命令が出され、平成18年2月の第2回国土開発幹線自動車道建設会議において、小松島―徳島東間が新たに「新直轄方式」で、徳島東―鳴門間が「有料道路方式」で整備することが決定した。そのうち、徳島―鳴門間については平成27年3月14日に開通し、四国縦貫自動車道に接続されるとともに松茂スマートICも同時に供用された。徳島東―徳島間については、平成27年3月24日に徳島市川内町三村地区の設計協議が完了した。小松島―徳島東間においては、平成24年8月までに全地区で設計協議を完了しており、平成26年3月にマリンピア沖洲の埋立用地の取得を完了し、平成26年度からは小松島市江田地区の用地取得を重点的に進めるなど、順次用地取得を進めている。

阿南―小松島間については、平成15年12月の第1回国土開発幹線自動車道建設会議において、「新直轄方式」による整備が決定した。平成19年2月から阿南市で、7月からは小松島市で順次設計協議に着手し、全地区で調印を終えている。平成20年度からは小松島市において用地買収に着手し、鋭意交渉を進めており、阿南―小松島間の平成26年度末時点の用地進捗率は9割を超えている。工事についても、平成23年7月に新那賀川橋、平成27年1月には小松島市田野地区の田野トンネル、平成27年3月には小松島市新居見地区の神田瀬川橋上部工が完成しており、順次工事が進められている。

なお、平成14年度には、従前からの高速道路周辺特別対策事業費補助金等の補助制度に加え、新たに高速道路整備支援事業費補助金の補助制度を創設し、高速道路の整備促進を図っている。

#### (ウ) 道路整備利用促進基金の創設

平成25年度をもって本四高速の出資金の拠出が終了したため、生じた負担軽減分を活用し、高速道路及びこれと一体となって本県の幹線道路網を構成する道路の整備や利用の促進を図るため、基金を創設した。

### イ 地域高規格道路の整備

#### (ア) 阿南安芸自動車道の整備促進

桑野道路・福井道路については、平成21年12月から都市計画素案の地元説明会を行い、平成22年4月に都市計画を決定した。

桑野道路延長6.5kmについては、平成23年4月に国土交通省事業として新規事業採択され、平成25年7月に3地区で設計説明会を開催し、用地買収着手に向けて、調査・設計を進めている。

福井道路延長9.6kmについて、平成24年4月に国土交通省事業として新規事業採択され、平成24年7月に3地区で測量・調査の立入説明会を開催し、引き続き調査・設計を進めている。

平成26年8月には、桑野道路・福井道路ともに中央帯の設置による本線構造の見直しを行い、幅員を10.5mから12mに変更した。

日和佐道路については、延長9.3kmで国土交通省事業として平成7年度に事業化され、由岐ICー美波町北河内間6.2kmが平成19年5月に部分供用、平成23年7月に全線供用された。

牟岐バイパスについては、平成16年度から国土交通省事業として実施されており、平成25年度に工事着手された。

阿南安芸自動車道（牟岐～野根間）については、平成27年3月の「社会資本整備審議会、道路分科会、四国地方小委員会」を経て、計画段階評価の手続きが完了した。

#### (イ) 徳島環状道路の整備促進

一般国道192号徳島南環状道路については、延長9.5kmで国土交通省事業として昭和61年度に事業化され、平成12年4月までに徳島市国府町内で2.6kmの側道が供用されており、現在は、徳島市国府町延命から八万町大野までの間で用地買収・工事を進めている。平成24年7月に八万町橋北の県道宮倉徳島線から八万町大野の一般国道55号までの1.1kmの側道が供用され、平成27年2月には上八万町下中筋の上八万ICから法花ICまでの1.9kmの自専部の暫定2車線が、法花ICから八万町橋北の県道宮倉徳島線までの0.3kmの側道が供用された。

また、県道徳島環状線（徳島市国府町～板野郡藍住町、徳島市安宅町～八万町）についても整備推進に努めた。

#### ウ 主要幹線道路の整備

##### (ア) 一般国道55号阿南道路

阿南道路は、国土交通省事業として昭和48年度に事業化され、全体延長18.4kmのうち平成19年12月までに小松島市大林町から阿南市津乃峰町西分までの15.5kmが供用（暫定2車線区間含む）された。このうち、小松島市大林町から南へ向けての6.9kmと、阿南市西路見町江川から津乃峰町東分までの6.0kmの合計12.9kmは平成20年2月までに4車線化された。

また、平成25年11月には阿南市津乃峰町西分から橘町大浦の一般国道195号までの1.7kmが暫定供用された。那賀川大橋周辺の暫定2車線での供用区間については、平成31年度の4車線化供用に向け那賀川大橋、中島高架橋の橋梁工事が進められている。

##### (イ) 一般国道32号猪ノ鼻道路及び改築防災（大歩危工区）の整備

猪ノ鼻道路は、延長8.4kmで国土交通省事業として平成15年度に事業化され、平成26年度に用地買収が完了し、現在はトンネル工事等が進められている。改築防災は、延長16.8kmで国土交通省事業として昭和47年度に事業化され、平成10年度までに延長約1.0kmを供用しており、現在、大歩危工区2.5kmについて、調査設計が進められている。

#### 1(2) 都市とその周辺道路の整備

##### ア 放射・環状道路の整備

徳島市中心部の交通混雑の緩和を図るため、県道徳島環状線、都市計画道路徳島東環状線等の放射

・環状道路の整備推進に努めた。県道徳島環状線，都市計画道路徳島東環状線においては，平成24年4月に阿波しらさぎ大橋を含む3.7km区間を供用した。さらに，平成27年3月には，都市計画道路元町沖洲線安宅交差点に接続する下りランプを含む南行き950mを供用し，引き続き末広住吉工区の整備を進めている。

区 分	放射・環状道路の整備	
	箇 所 数	事 業 費 (千円)
補 助	7箇所	2,139,794
県 単	3箇所	25,086
計	10箇所	2,164,880

イ 都市部の幹線道路の整備及び高速道路の I Cアクセス道路の整備

都市とその周辺地域の交通の円滑化を図るため，都市計画道路芝生日ノ峰線等の整備推進に努めた。

また，四国横断自動車道と徳島阿波おどり空港を接続する徳島空港線西延伸事業のほか，小松島市街地から小松島 I Cにアクセスする小松島港線の延伸事業等の整備推進に努めた。

区 分	幹線道路の整備	
	箇 所 数	事 業 費 (千円)
補 助	5箇所	2,136,240
県 単	1箇所	359
計	6箇所	2,136,599

※放射・環状道路を除く

1(3) 安全快適で信頼性の高い道路の整備

安全快適で信頼性の高い道づくりを進めるため，落石，震災対策などの防災対策を推進した。

また，大規模災害発生時に「救急救命」や「救援物資の輸送」を担う緊急輸送道路等の整備を進めた。

さらに，今後急速に進む道路施設の老朽化に対応し，対症療法的修繕から予防保全的な修繕に移行するため，県管理橋梁（701橋）について長寿命化修繕計画を更新するとともに，県管理トンネル（99トンネル）について修繕計画に基づく修繕事業に着手した。

1(4) 地域の振興を図る道路の整備

ア 広域的生活圏に必要な国道，県道の整備

(ア) 国道，県道の整備

地域間交通の円滑化，地方における定住基盤の充実，地域の活性化等を図るため，県都徳島市と主要な都市を結ぶ路線，さらに，主要な都市と各市町村役場所在地との間や，各地域の観光拠点等を結ぶ路線の整備を推進した。

(イ) 市町村合併支援道路の整備

合併市町村の一体化を促進するため，地域公共施設のネットワークを形成する路線の整備を推進した。

区 分	市町村合併支援道路の整備	
	箇 所 数	事 業 費 (千円)
補 助	3箇所	795,967
県 単	22箇所	171,718
計	25箇所	967,685

## 2 道路の利用促進（道路整備課，高規格道路課）

### 2(1) 道路ストックを活用した地域活性化の推進

道路の既存ストックを有効活用し，新たな地域資源としての魅力の再発見による情報発信や，主要観光エリアへの案内標識の設置等による観光振興を推進するとともに，道の駅のサービス機能の強化による，地域活性化や地域防災力の向上に向け，防災拠点化を推進した。

### 2(2) 「阿波の道”夢”基金（道路整備利用促進基金）」を活用した道路の整備及び利用促進

本四高速道路への出資終了を受けて創設された「阿波の道“夢”基金（道路整備利用促進基金）」を活用し，広域交通ネットワークを形成する「四国横断自動車道」や「阿南安芸自動車道」等の整備促進や「地域経済化の活性化」，「観光における利便性の向上」等に資する道路利用の促進に関する事業を実施した。

## 3 鉄道・バス路線網の整備（交通戦略課）

### 3(1) 鉄道網の整備

#### ア 阿佐東線の活性化

第3セクター鉄道阿佐東線（海部－甲浦間8.5km）の維持存続及び活性化を図るため，阿佐海岸鉄道株式会社，地元自治体，四国旅客鉄道株式会社等と調整協議を行い，共同で阿佐東線の利用促進活動を実施した。

また，鉄道も道路も走行可能なDMVの導入に向け，平成25年度に策定した「駅舎改築基本計画（案）」をもとに，国と鉄道事業法等に基づく協議などを行った。

#### イ 鉄道の利用促進

鉄道の利用促進を図るため，音楽を活用した列車の運行やLEDによる車内装飾などを実施したほか，住民や地元自治体と連携しながら，駅前の清掃や駐輪場の整備を実施した。

### 3(2) バス路線網の整備

#### ア 生活バス路線の確保

地域住民の生活交通手段を確保するため，路線バス事業者及び市町村に対し，補助金を交付することにより，かけがえのない公共輸送機関である生活バス路線網を確保した。

#### (ア) 地方バス路線の維持

生活バス路線における地域間幹線路線に対し，地域公共交通確保維持改善事業費補助金を交付した。

#### (イ) 生活交通網の確保

地域住民の安全・安心な生活を確保するため、生活バス路線の維持・確保を図る市町村に対し、生活バス路線維持確保補助金を交付した。

##### ○ 補助金実績

区 分	補助金額（千円）	備 考
地域公共交通確保維持改善事業費補助金	125,780	系統数 39
生活バス路線維持確保補助金	66,645	系統数 75
計	192,425	系統数 114

## 2 海上交通網の拡充

### 1 港湾の整備（運輸政策課）

#### 1(1) 徳島小松島港の整備

##### ア 沖洲地区の整備

港湾改修事業・臨海土地造成事業

徳島小松島港沖洲地区において、広域交通ネットワークの形成や環境に配慮した港湾空間の創出を図るため、四国横断自動車道用地等の整備を行った。

##### イ 沖洲ふ頭の整備

港湾補修事業・県単独港湾整備事業

徳島小松島港沖洲（外）地区において、本県の物流・防災機能の強化を図るため、大型船舶に対応した耐震強化岸壁やふ頭の整備を行った。

##### ウ 津田地区の整備

港湾環境整備事業・県単独港湾整備事業

徳島小松島港津田地区において、広域交通ネットワークの形成や木材団地の再整備を図るため、四国横断自動車道用地等の整備を行った。

##### エ 津田地区活性化計画の検討

港湾改修事業

徳島小松島港津田地区において、四国横断自動車道の追加インターチェンジの検討と併せ、これを活用した「物流機能の充実強化」の観点を含めた活性化計画の検討を行った。

#### 1(2) 橘港の整備

##### ア 橘港公共用地計画の整備推進（小勝・後戸地区）

港湾環境整備事業

ソフトボール場等の整備の進捗を図った。

##### イ 国内物流港の整備（西浜地区）

港湾改修事業

岸壁の整備を行った。

### 1(3) 安全・安心な港湾施設の整備

港湾施設の老朽化に備え、必要な機能を維持しつつ、将来の改良・更新コストを抑制するため、岸壁等の港湾構造物21施設について、長寿命化計画を策定した。

事業名	事業費（千円）
港湾改修事業	397,505
県単独港湾整備事業	318,020
港湾環境整備事業	95,280
港湾補修事業	223,500
臨海土地造成事業	331,000
計	1,365,305

## 2 港湾の振興（運輸政策課）

### 2(1) 徳島小松島港コンテナターミナルの利用促進

徳島小松島港で国際コンテナ輸送を行う荷主（企業・商社等）に対し、コンテナ貨物の輸出入に要する経費の一部を助成した。

区分	交付金額（千円）
徳島小松島港コンテナ利用促進事業	18,000

### 2(2) クルーズ客船の誘致

大型クルーズ客船の誘致を図るため、船社への「ポートセールス」、 「港湾施設の機能調査」及び「保安施設計画検討」等を行った。

区分	交付金額（千円）
外国クルーズ客船誘致戦略推進事業	20,644

## 3 航空交通網の拡充

### 1 航空ネットワークの整備（交通戦略課）

#### 1(1) 国内他地域との航空交通網の確保・拡充及び国際チャーター便の誘致推進

航空路線の確保・拡充について、航空会社等関係機関に対してエアポートセールスを行った。

### 2 徳島阿波おどり空港の機能強化及び利用促進（交通戦略課）

#### 2(1) 空港の機能強化

国内路線の充実や国際チャーター便を誘致するため、空港機能の現状分析や需要予測等を行うとともに、整備すべき施設や地域活性化への活用方策について検討した。

#### 2(2) 空港の利用促進

徳島阿波おどり空港の利用促進を図るため、国内新規路線の開設支援やエアポートルoungeの活用

など、空港利用促進対策を実施した。また、新たな航空需要の創出を図るため、本県の先進事例に関する情報発信や視察研修のマッチングなど、航空路線を活用した地方創生に向けた取組に対する支援のあり方を検討した。

## 4 高度情報化の推進

### 1 公衆無線LAN環境の整備（地方創生推進課）

災害時における通信手段の確保を図るとともに、平時には観光情報等の発信に活用するため、公衆無線LANアクセスポイントの整備に取り組んだ。

### 2 e-とくしま基盤整備促進事業（地域振興課）

地域間の情報通信格差是正を図るため、携帯電話エリアの整備を行うことで、携帯電話利用者の利便性の向上を図った。

### 3 e-とくしま戦略推進事業（地域振興課）

「ICT（愛して）とくしま創造戦略」に定める重点戦略の実現に向け、公益財団法人e-とくしま推進財団とともに、ICTを課題解決ツールとした各種プロジェクトの進捗管理を行うことにより、地域情報化施策を推進した。

### 4 もっとICT（愛して）とくしまプロジェクト（地域振興課）

ICT人材の育成や、徳島の魅力発信を目的に、デジタルコンテンツを募集するコンテスト「ICT（愛して）とくしま大賞」などの事業を実施した。

### 5 電子自治体共通基盤整備事業（地域振興課）

行政手続のオンライン受付サービスを実施するため、県と市町村が共同で電子申請・届出を実施した。業務効率化とコスト削減を目的に、県がOSSで開発したシステム（ホームページ作成システム、オンラインストレージ）を県内市町村にクラウドで提供した。

### 6 公的個人認証サービス整備事業（地域振興課）

オンラインによる申請・届出等における本人確認手段である「公的個人認証サービス」を県と市町村が連携して県民に提供した。

### 7 次世代「e-県庁」推進事業（情報システム課）

CIO（最高情報統括監）を中心としたICTガバナンス体制のもとで、行政の簡素・効率化と県民サービスの向上を目指した「業務・システム最適化」を推進するとともに、情報システム調達の適正化や情報セキュリティの確保に取り組んだ。

## 8 防災拠点情報ネットワーク災害対策強化事業（情報システム課）

大規模災害発生時において、県の情報システム・ネットワークを活用した業務の継続性を確保するため、本庁舎と耐災害性に優れたデータセンターに各システムのサーバを統合する基盤となる庁内クラウドを整備した。

## 9 電子入札・電子納品等推進事業（建設管理課）

電子入札について、県内市町村への導入促進の取組として、県の電子入札システムの共同利用について普及・啓発を行い、7市（鳴門市・小松島市・阿南市・吉野川市・阿波市・美馬市・三好市）で運用を実施した。

電子納品について、委託業務及び土木工事に加え、平成26年度から建築工事についても完全実施した。